

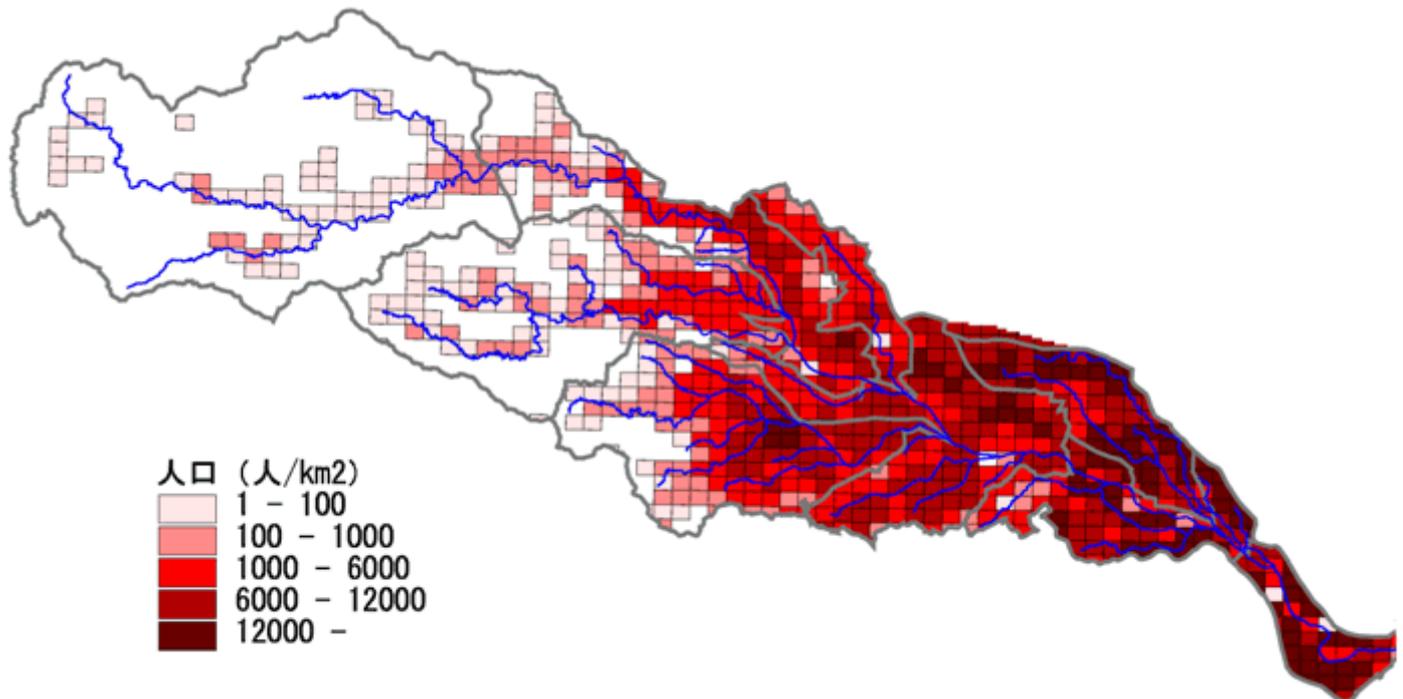
今までの水流実態解明プロジェクトでわかったこと。

【資料】流域の社会条件

人口

多摩川流域内人口は、約362万人です(平成17年国勢調査)。

多摩川流域は首都圏に位置していることから人口も多く、全国の一級河川109水系の中でみると流域人口で4位、流域人口密度で3位(河川現況調査:1997)となっています。

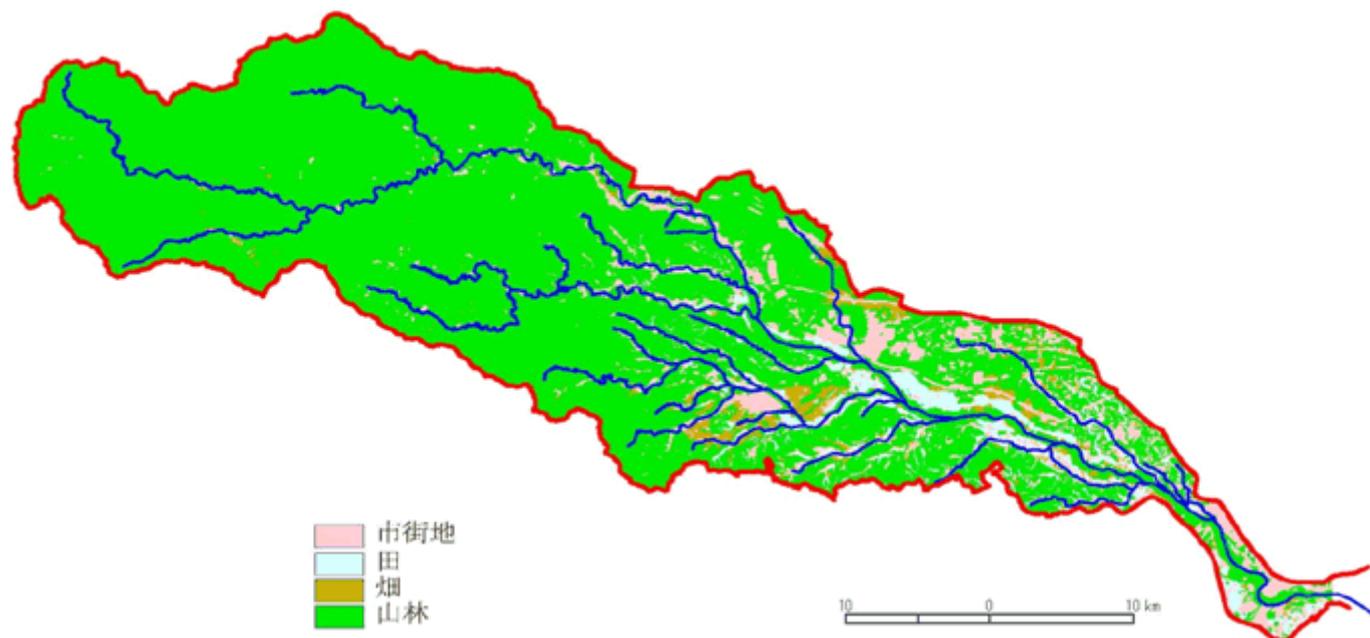


出典:国勢調査結果(平成17年)

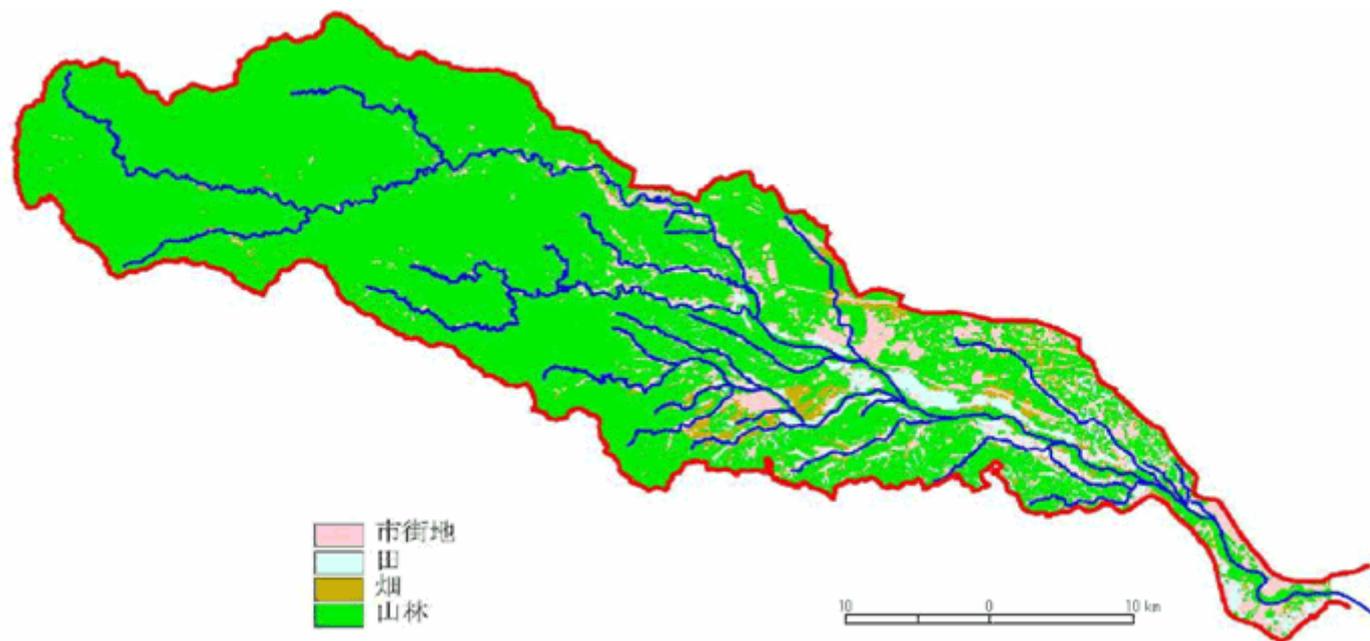
土地利用

多摩川流域の土地利用は、明治時代頃から徐々に市街化され始めましたが、昭和30年頃までは市街地率が流域の10%程度でした。その後、高度経済成長期にかけて下流部や武蔵野台地の市街化が急激に進展し、さらに昭和47年頃には多摩ニュータウンなどの造成による多摩丘陵の市街化が進みました。

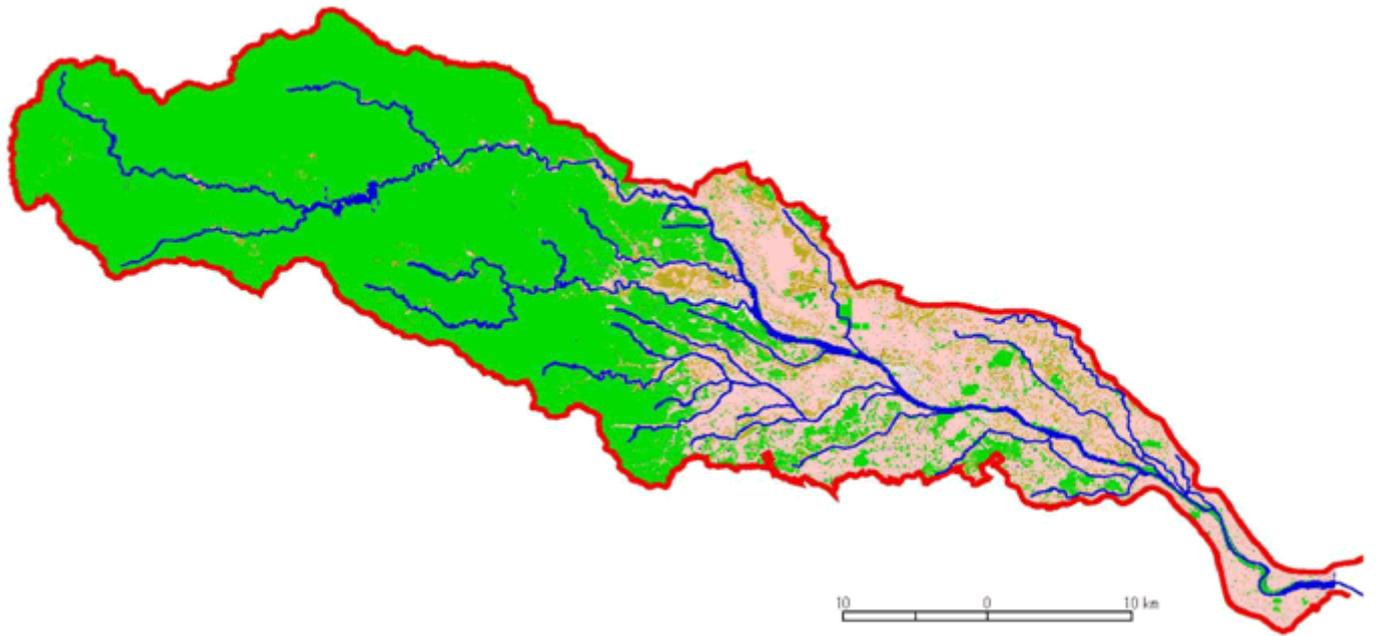
現況においては、高度経済成長期と比較すると伸び率は鈍化したものの、中流域より下流の平野部においては大部分が市街化され典型的な都市河川の様子を示しています。



出典: 旧版地図(1/50,000)より、市街地と水田、畑の項目を GIS 化し設定



出典: 細密数値情報(1974)国土地理院



出典：細密数値情報(1994 国土地理院)